

## 地上デジタル放送を活用した戸別受信機の配付について

### 1 概要

本市における災害情報伝達手段は、平成29年度からV-Lowマルチメディア放送により運用（V-ALERT）してきたところであるが、当該放送事業者が事業から撤退することを受け、既存の設備を最大限活かし、継続的かつ安定的に災害情報を伝達する手段の検討を進めてきた。

このうち、V-ALERTに対応した防災ラジオの代替手段として、開発が進められてきたIPDC（\*）対応の戸別受信機が完成したことから、令和4年2月から3月にかけて町内会、関係機関等に配付するもの。

新たな戸別受信機により、多発する自然災害等に対し、細やかな情報を適時・的確に発信することで、市民の安全・安心につなげる効果が期待される。

\*IPDC（Internet Protocol Data Cast）：地上デジタル放送に防災情報などのデータを載せて配信する技術

### 2 戸別受信機の設置予定

○総数600台

・町内会・自治会	317台
・消防団	44台
・避難所、避難場所	74台
・福祉避難所及び要配慮者利用施設	83台
・防災関係機関	8台
・その他（貸出し・予備・市関係施設）	74台

以上